

平成30年度入試の情報開示（出題意図）について

入試の区分	一般入試（後期日程）
学部学科等	経済学部「昼間主・夜間主コース」全学科
教科・科目名	その他／小論文
正解・解答例 又は出題 （面接）意図	<p>（出題意図）</p> <p>[1] 論理的思考力と表現力を見る。</p> <p>[2] 外国語で書かれた情報を正確に理解する力を見る。</p> <p>（解答例）</p> <p>【問題1】</p> <p>[1] 米トランプ政権がTPPから離脱し、保護主義的な姿勢を崩さないから。</p> <p>[2] 背景として、日本はTPPに代わる成長戦略の目玉として日欧EPAを強調でき、EUも経済統合の求心力を保つために米中に次ぐ日本市場の開放が必要だった。日本のメリットは、EUの自動車や電気製品の関税が撤廃され、EU市場において日本の産業界の競争力が韓国製品と同等になること、日本のチーズやワイン、豚肉やパスタの関税の引下げや撤廃により消費者も利益を受けることである。EUにとってのメリットは、チーズ、ワイン、豚肉、パスタも対日輸出の増加が見込めることである。</p> <p>[3] 農産物の市場開放により、日本の酪農家などが競争をしいられることである。</p> <p>[4] 酪農家等に補助金を支給したり、酪農家等が生産する牛乳等の需要を拡大したりする。</p> <p>[5] ウ</p> <p>【問題2】</p> <p>[1] 支援したい事業を選定し、半分寄付、半分投資という形で東日本大震災からの復興を支援すること。</p> <p>[2] C</p> <p>[3] どんなにがんばっても通常の投資だけでは、事業を立て直すのは難しいから。</p> <p>[4] 投資者が、復興に対して、寄付者よりも長期にわたり果たすべき責任のことである。寄付は、支払った時点で責任は消滅するが、投資は、寄付よりも長期間にわたり関心を持ち続け、その事業を支援し見届けるものだからである。</p>
備考	